

メイクのノリが悪い

-簡潔版: スキンケアにおける因果の法則-

メイクのノリに大きな影響を与えるのは、肌のキメの乱れや凹凸、滑らかさの欠如です。そして、肌のキメの乱れや凹凸、滑らかさの欠如に最も関係するのは、スキンケア因果の連鎖において、皮膚バリアが壊れて起きる「乾燥肌によるターンオーバーの滞り、古い角質が剥がれない『角質肥厚』」です。これにより、皮膚表面の状態が悪化し、古い角質が溜まって新しいバリア機能のある角質に戻れない状態になります。その結果、肌のキメの乱れや凹凸、滑らかさの欠如が起こり、結果としてメイクのノリが悪くなるのです。

スキンケアの因果の連鎖では、特に皮膚バリアの崩壊による「乾燥肌によるターンオーバーの滞り、古い角質が剥がれない『角質肥厚』」がメイクのノリに大きな影響を与えることが理解できます。

●今、特定の症状『メイクのノリが悪い』で悩んでいるということは、『因果の連鎖』が起きているということです:

1. 「環境要因(気候、紫外線、汚染物質、合成界面活性剤、空気乾燥、加齢など)」による皮膚バリアの崩壊(角質細胞間脂質のラメラ構造の破壊)
2. 「皮膚バリアの崩壊」によるバリア機能の喪失
3. 「バリア機能の喪失」による角質水分保持力低下。また、過敏反応抑制力低下
4. 「角質水分保持力低下」による肌乾燥(ざらつき、ツツパリ感などの初期症状が現れる)。また、「過敏反応抑制力低下」による肌敏感(痒み・赤み・ヒリヒリ感・ツツパリ感や敏感反応など初期症状が現れる)
5. 『肌乾燥・肌敏感』によるターンオーバーの滞り、古い角質が剥がれない『角質肥厚』
6. 『角質肥厚』によるターンオーバーの乱れ、バリア機能のある角質層が形成されない
7. 「バリア機能のある角質層が再生されない」による角質水分保持力低下、『長期間の乾燥が続く』。また、過敏反応抑制力低下、『長期間の敏感が続く』
8. 『長期間の乾燥が続く』による他の肌トラブルや二次的な症状が発生(メイクのノリが悪い・シミ・シワ・たるみ・毛穴トラブル・大人ニキビ・くすみなど)。また、『長期間の敏感が続く』による他の肌トラブルや二次的な症状が発生(アトピー、かぶれ(接触皮膚炎)、アレルギー反応、じんましん、紅斑、慢性的なかゆみ、湿疹など)

●例えば、メイクのノリが悪い場合、因果の連鎖を断ち切るためには、因果の連鎖を知り、理解することが重要です。

メイクのノリが悪い場合、それは長期間の乾燥が原因です。乾燥により皮膚バリアが壊れ、角質水分保持力が長期間にわたり低下し、肌のキメが乱れます。この因果の連鎖を断ち切るためには、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品を使用し、皮膚バリアを修復・強化し、バリア機能と角質水分保持力を高めるケアが重要です。このケアにより、肌の滑らかさやキメが整い、メイクのノリが良くなり、化粧映えがします。また、定期的なピーリングの使用も効果的です。